

科目名	看護概論				DP1、DP3 DP5、DP6	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 基礎看護 看護概論	時間数	35時間	担当 教員	専任教員
科目 概要	看護概論は、「看護とは何か」という看護の概念を捉え、看護の本質を学ぶ科目である。看護の基礎概念である「人間・健康・環境・看護」の概念を学習して、保健医療福祉活動における看護実践の基礎となる看護の本質、役割と機能、看護の方法について学ぶ。主要な看護理論では、ヴァージニア・ヘンダーソンとフローレンス・ナイチンゲールの看護の定義をひも解き、「看護とは何か」について考える。また、看護実践の基礎となる理論として、ヘンダーソンの「看護の基本となるもの（14の基本的ニーズ）」を学習し、対象のニーズを捉え、対象理解の方法を学ぶ。更に、看護の変遷を学ぶ中で、看護が発展してきた過程を捉え看護の将来について考えられる内容とした。						
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要な看護理論家の看護概念、看護の定義について理解し、看護とは何かを考えることができる。 2. 看護の対象である人間の特徴について理解し、人間は個性をもつ生活者であることがわかる。 3. 健康の概念、健康を保持増進、疾病の予防、健康の回復のための施策について知る。 4. 保健医療福祉の場における看護活動の概要や看護の果たす役割を理解する。 5. 災害や国際化の中で、看護の役割について知る。 6. 看護の歴史の変遷から、看護の位置づけとこれからの看護を考えることの大切さを学ぶ。 						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1～17	看護の概念、看護の定義 看護理論		看護とは、看護の概念の歴史、現代における看護の概念、看護の目的・対象・方法、主要な看護理論家（ナイチンゲール、ヘンダーソン、ペプロウ、オレム、ロイ、ベナー、その他）がとらえた看護の本質			講義 演習	専任教員
	対象の理解		人間を理解する、看護からみた人間、患者を理解するために			講義 演習	
	看護理論家たちが考える 看護とは		パフォーマンス課題「看護とは」作成・発表			演習	
	看護理論家の理論を応用		パフォーマンス課題「理論家の理論を応用して看護を構想する」			演習	
	職業としての看護 看護活動		看護の倫理 看護活動の種類、健康段階と看護活動、看護の継続性、看護者の基本的な姿勢			講義	
	災害看護、国際看護		災害時における看護、国際看護			講義 演習	
	健康と保健・医療・福祉		健康の価値、健康観、健康の概念、健康をまもるしくみと看護			講義	
18	看護の変遷		古代における医学と看護、宗教的看護の時代、わが国における仏教と看護、近代看護の確立、現代の看護			講義 演習	試験
	試験（1時間）						
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。（ペーパーテスト60点、パフォーマンス課題 ループリック40点）						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 5 基礎看護 [1] 看護概論 医学書院 看護の基本となるもの 日本看護協会 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							